

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公開番号】特開2008-136341(P2008-136341A)

【公開日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2007-273933(P2007-273933)

【国際特許分類】

H 02 J	7/34	(2006.01)
H 02 J	7/00	(2006.01)
H 02 J	17/00	(2006.01)
H 01 M	10/44	(2006.01)
H 01 M	10/46	(2006.01)

【F I】

H 02 J	7/34	C
H 02 J	7/00	H
H 02 J	7/00	3 0 1 D
H 02 J	7/00	3 0 2 C
H 02 J	17/00	A
H 01 M	10/44	P
H 01 M	10/46	

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月7日(2010.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】無線通信機器

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部回路と、

固定電源を利用して充電を行う第1のバッテリーと、

外部空間に存在する電磁波を利用して充電を行う第2のバッテリーと、を有し、

(A) 前記固定電源からの電力の供給がある場合において、前記固定電源からの電力により前記内部回路が動作し、

(B) 前記固定電源からの電力の供給がなく、且つ、前記第2のバッテリーの電力が前記内部回路を動作するために十分な場合において、前記第2のバッテリーの電力により前記内部回路が動作し、

(C) 前記固定電源からの電力の供給がなく、且つ、前記第2のバッテリーの電力が前記内部回路を動作するために十分でない場合において、前記第1のバッテリーの電力により前記内部回路が動作するとともに、前記電磁波を利用して前記第2のバッテリーの充電が行われ、

(D) 前記固定電源からの電力の供給がない場合において、前記(B)と前記(C)とが交互に行われることを特徴とする無線通信機器。

【請求項2】

請求項1において、

前記固定電源からの電力の供給がある場合、前記電磁波を利用して前記第2のバッテリーの充電が行われることを特徴とする無線通信機器。

【請求項3】

請求項1において、

前記固定電源からの電力の供給がある場合、前記固定電源を利用して前記第2のバッテリーの充電が行われることを特徴とする無線通信機器。

【請求項4】

固定電源を利用して充電を行う第1のバッテリーと、

外部空間に存在する電磁波を利用して充電を行う第2のバッテリーと、を有し、

前記第1のバッテリーの放電と前記第2のバッテリーの放電とが交互に行われ、

前記第2のバッテリーが充電されている間に、前記第1のバッテリーの放電が行われることを特徴とする無線通信機器。

【請求項5】

請求項1乃至請求項4のいずれか一において、

前記第2のバッテリーの電力保持容量は、前記第1のバッテリーの電力保持容量よりも小さいことを特徴とする無線通信機器。

【請求項6】

請求項1乃至請求項5のいずれか一において、

無線通信をする際の送受信のための第1のアンテナと、

前記電磁波を利用した充電のための第2のアンテナと、を有することを特徴とする無線通信機器。

【請求項7】

請求項6において、

前記第2のアンテナは、複数の周波数帯の受信に対応していることを特徴とする無線通信機器。